

『自己紹介をしよう』

1. 展開案

進	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	<p>1. 本時のねらいを知る。</p> <p>2. モデリングを見て、自己紹介のポイントを知る。 【モデリング】 I 下を向いて、小さな声で、悲しそうな顔で言う。 II ポイントを使って言う。</p>	<p>○みなさんは、仲のよい友達はいですか。仲よしの友達が多いと、学校が楽しいですね。</p> <p>○今日は、自己紹介の練習をします。自己紹介は相手と仲よくなるきっかけになります。自分のことをもっと知ってもらって仲よしの友達を増やすために、上手な自己紹介の仕方を学習しましょう。</p> <p style="text-align: center;">じょうずな自こしょうかいのし方をれんしゅうしよう</p> <p>○人との関わり方の学習をするときの約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやかさない ・はずかしがらない ・よいところを見つける </div> <p>○今から実際に自己紹介をします。まず先生が、自己紹介をする役になって2通りの自己紹介をやってみます。どちらが、聞く人に伝わるかよく見ていてください。</p> <p>○どちらの自己紹介がよかったですか。どうしてよいと思ったのですか。</p> <p>○自己紹介のポイントにはいろいろあります。今日練習する自己紹介のポイントは3つです。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【自こしょうかいのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに聞こえる声で話す ・みんなのほうを見て話す ・笑顔で話す </div>	<p>・自分のことを相手に知ってもらうことで、相手と仲よくなるきっかけになることをおさえる。</p> <p>・実際に行動できるようにするためには、約束を守ってしっかり練習することが大切であることを伝える。</p> <p>※モデリングシナリオ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手役は事前に頼む。 ・モデリングは、ポイントが分かりやすいように、違いをはっきりさせて大きさに演じる。 ・どんなところがよかったか、気づきを出させながら自己紹介のポイントを押さえる。 ・自己紹介のポイントを使うと相手に自分のことがよく伝わることを確認する。
やってみる	<p>3. 自己紹介のポイントに気をつけながら練習①をする。</p>	<p>○それではこれから4人グループで順番に自己紹介をしてみましょう。聞く人はどのポイントが上手だったかを見てください。</p> <p>○1人1分行います。1分間の中で自己紹介とできていたポイントの伝え合いをします。交代の合図は先生がします。</p>	<p>・自己紹介カードは事前に書かせておく。紹介カードには、「好きな食べ物」「好きな遊び」「得意なこと」「今熱中していること」「ぼく・私の夢」など、自分のよいところが表れる項目にする。</p> <p>・スムーズに進めるため1つのグループが実際に練習をやって見せて、やり方を確認してもよい。</p>

<p>や っ て み る</p>	<p>4. 練習①を振り返り、全体で話し合う。</p> <p>5. 自己紹介のポイントに気をつけながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>○全員自己紹介ができたようですね。友達に伝えるように自己紹介ができましたか。どのポイントができましたか。</p> <p>振り返りシートの1回目のところに丸を付けましょう。</p> <p>○グループで上手だった人を紹介してください。先生が見つけた上手だった人を紹介します。</p> <p>○友達の自己紹介を聞いてどうだったか、感想を発表して下さい。感想は①3つのポイントがよかった友達 ②友達のことで新しく発見したことを発表してください。</p> <p>○2回目の練習で頑張りたいポイントを決めましょう。できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントが増えたりできるようになるといいですね。新しいポイントを作ってもいいですよ。</p> <p>○話し合いで出た意見を参考にして、もう一度自己紹介をやってみましょう。さっき紹介した3つポイントとは別のことを紹介しましょう。</p> <p>○2回目の練習を振り返りましょう。1回目と比べてどうでしたか。</p>	<p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表の順番を決めておく。 <p>※ふりかえりシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 上手にできた児童を紹介する。聞き役が伝わってきたかどうかを尋ね、相手に伝わるようにすることの大切さを意識させる。 自己紹介を聞くことで、新しい発見があり、友達作りのきっかけになることにふれる。 ポイント以外でも工夫している点を新しいポイントとして挙げてよいことを知らせる。 「自己紹介のポイント」を意識して、2回目の練習をさせる。
<p>ふ り か え る</p>	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日学習したことを振り返りましょう。</p> <p>○上手に自己紹介をして自分を分かってもらえとうれしいですね。新しい発見をした人や、友達と自分に似ているところを見つけた人もいます。これから、自分のよいところを伝えたり、友達のよいところを見つけたりして、仲よしが増えていくといいですね。</p> <p>○今日の3つのポイントは、自己紹介だけでなく、発表するときやあいさつするときなど他の場面でも使うことができそうです。</p> <p>○明日から、チャレンジ週間にします。チャレンジ1では、3つのポイントを使って朝の会でみんなの前で自己紹介をしていきます。チャレンジ2では3日間、授業中や休み時間に自己紹介のポイントを使って話すことに挑戦します。自分のことをみんなに知ってもらったり、自分の考えをしっかりと伝えたりすることで、もっとみんなと仲よくなることができるといいですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の感想を紹介し、自己紹介をするよさを確認する。 自己紹介のポイントを他にどんな場面で使えるか想起させ、自己紹介に限らず、生活の中で使うことを意識させる。 <p>※チャレンジシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の会で自己紹介したり、生活の中でポイントを使ったりすることに挑戦するチャレンジ週間について知らせ、意欲をもたせる。

2. モデリングシナリオ

モデリングシナリオ

モデリングⅠ 自信なさそうに、自己紹介をする

(下を向いて、小さな声で、悲しそうな顔をして言う。)



自己紹介をします。
私の好きな食べ物は、すいかです。
バレエ部に入って、練習を頑張っています。
終わります。

モデリングⅡ 自己紹介のポイントを使って自己紹介をする

(みんなの方を見て、聞こえる声で、笑顔で言う。)



自己紹介をします。
私の好きな食べ物は、すいかです。
バレエ部に入って、練習を頑張っています。
終わります。

3. チャレンジ週間の取り組み

〈例〉

チャレンジ1：朝の会で3つのポイントを使って数名ずつ自己紹介をする。

チャレンジ2：3日間、授業中や休み時間に自己紹介のポイントを意識して話す。

4. 自己紹介の場面のアレンジ例

「②自己紹介」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・クラス替えがあったとき
- ・担任の先生が代わったとき
- ・委員会活動やクラブ活動での最初の時期
- ・校外学習で地域の方と交流するとき
- ・グループ学習で初めて一緒になったとき
- ・他の学校との交流会をするとき
- ・ゲストティーチャーに会ったとき
- ・授業の中で自分の考えを話すとき
- ・休み時間に自分のことや考えていることを話すとき